

2023 年度自己評価結果（概要）

1. 福祉サービス事業者

(1) 事業者概要

事業所名称：障害福祉サービス事業所 (施設名) 済生会ほほえみ	種別：多機能型事業所 (生活介護・就労継続支援 B 型)
代表者氏名：支部長 副島秀久 (管理者) 小西忠光	開設年月日： 平成 24 年 3 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 ^{恩賜財団} 済生会 経営主体：済生会熊本福祉センター	定員：40 名 (利用人数) 39 名
所在地：〒861-4127 熊本市南区内田町 3560-1	
電話番号：096-223-3428	F A X 番号：096-223-3429
ホームページアドレス http://sk-fukushi.jp/	

(2) 基本情報

サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
生活介護事業・就労継続支援 B 型事業	健康診断、防災訓練、地域清掃活動、運動会、忘年会、春・秋のレクリエーション、秋祭り、等

2. 事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none">○利用者の「ストレングス（強み）」を意識した支援。○B 型：手作りのパンと焼き菓子の製造、販売を通じた地域との繋がり和社会参加。○生活介護：工賃支給と入浴支援の実施。

3. 評価結果

該当項目数	37
非該当項目数	1

<p>◆評価できる項目</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が 5 類になって以降、感染予防は継続しつつ徐々に販売会への参加や外出活動等を増やし、満足度向上や社会参加へと繋げている。</p> <p>○会議や研修、学会発表を通して職員のファシリテーション力やプレゼンテーション力の向上を図っている。</p> <p>○各々の職員が意識し取り組むことができるよう、事業計画案、収支改善計画案を職員全体から募り、毎月の会議で収支状況、四半期ごとに事業計画の進捗状況を確認している。</p>
<p>◆努力すべき項目</p> <p>新型コロナ感染症の流行以降、利用者の社会参加の機会や地域の方との交流の場が減少。5 類になって以降、ボランティアの受け入れを再開すべく新たなボランティアを探しているが、秋祭りでの受け入れのみに留まっている。SW 実習や福祉の職場体験等の受け入れは第三者からの視点を得ることに繋がり、今後は、ボランティアの積極的な受け入れにより利用者活動の多様化と共に地域に開かれた事業所を目指したい。</p>